マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) は、マイクロソフト ボリューム ライセンスのお客様が、ライセンス情報の表示、マイクロソフト ソフトウェアのダウンロード、ボリューム ライセンスの特典およびサブスクリプションの管理を一元的に行えるオンライン ツールです。マイクロソフトはこのほど、パートナー様とお客様のフィードバックに基づいて、ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC; <https://www.microsoft.com/licensing/servicecenter>) をアップグレードし、ソフトウェア/サービスのライセンスや特典の管理、導入を 1 箇所で、容易に行えるようにしました。

**[登録方法](#howdoiregister)**

**[管理者のアクセス権限](#Administrator)**

[**トラブルシューティング**](#Troubleshoot)

[**VLSC 内のアクセス**](#Access)

[**VLSC でのベスト プラクティス**](#BestPractice)

**登録方法**

**登録方法を教えてください。**

VLSC に登録するには、まず Windows Live™ ID を有効な勤務先電子メール アドレスに関連付ける必要があります。Windows Live ID をお持ちでない場合は、<http://windowslive.com/> にサインインして取得してください。

1. VLSC (<https://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/>) にサインインします。
2. [**Sign In Now (今すぐサインイン)**]をクリックします。
3. 有効な勤務先電子メール アドレスを入力し、[**送信**]をクリックします。
4. 入力したメール アドレスに、[vlsc@microsoft.com](mailto:vlsc@microsoft.com) からメールが届きます。
5. 確認メールに含まれる**ボリューム ライセンス センター**のリンクをクリックし、登録を確認します。
6. 勤務先電子メール アドレスに関連付けた Windows Live ID を使用して VLSC にサインインします。

(注: アクセスの承認には、最大 48 時間かかることがあります。登録後に、アカウントに対応するアクセス権限がないというメッセージが届いた場合は再登録**しないでください。**確認メールを保存しておき、48 時間後に再度、メール内のリンクをクリックしてください。問題が解決されない場合は、VLSC の [**ヘルプ**]をクリックし、[**お問い合わせ先**]を表示して最寄りのサポート センターの連絡先をご確認ください。ご不便をおかけして申し訳ありません。)

**VLSC に登録しましたが、アクセス権限のリクエストが失敗したという通知が送られてきました。どういう意味ですか。**

**アクセス権限のリクエストが失敗したという通知**があった場合、ライセンスに対応する管理者、または購入済みライセンスに該当する勤務先電子メール アドレスが、現時点でマイクロソフトの記録に存在しないことを意味します。お客様を保護するためのセキュリティ強化策の一環として、マイクロソフトでは**ライセンスごとに**お客様の有効な勤務先電子メール アドレスを必須としています。

ラージ アカウント リセラー (LAR) 様/ディストリビューター様: マイクロソフトパートナーコール センターに連絡し、御社のライセンス資格をご確認ください

リセラー様とお客様: マイクロソフトボリュームライセンスコールセンターにお問い合わせください。

* ライセンス契約番号、ライセンス認証番号、会社名、会社住所などの情報をカスタマー サービス担当者に伝えてください。
* マイクロソフトのカスタマー サービス担当者が、連絡された方を管理者として追加し、アクセスを承認します。

**引き続き、アクセス権限リクエストの失敗が解決されない場合には、下記までご連絡ください。**

* マイクロソフト ボリュームライセンス コールセンター : 0120-737-565
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)
* マイクロソフト パートナーコールセンター : 0120-708-105
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)

VLSC からは [**ヘルプ**]をクリックし、表示されたページ下部に記載されております「ご質問をこちらまでお送り下さい」に貼られているハイパーリンクをクリックすることで、最寄りのサポート センターの連絡先をご確認i頂けます。

**管理者のアクセス権限**

**管理者の役割とは何ですか。**

管理者は、組織のライセンス ID や契約の管理を行います。管理者になれるのは、組織の従業員、または組織が選択したパートナー様/リセラー様です。管理者以外のアクセス権限で実行できるのは、VLSC の一部の操作に限られます。たとえば、ソフトウェア アシュアランス管理者はライセンス情報とソフトウェア アシュアランス特典にアクセスできますが、プロダクト キーにアクセスしたり、ライセンス対象のソフトウェアをダウンロードしたりすることはできません。以下の表に、VLSC の管理者とその他のアクセス権限の役割の違いを示します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 管理者 | ダウンロード管理者 | プロダクト キー管理者 | ライセンス情報担当者 | ソフトウェア アシュアランス管理者 | サブスクリプション管理者 | オンライン サービス管理者 | オープン ライセンス追加の担当者 | 登録ユー ザー (役割なし) |
| ユーザーの管理 |  | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ソフトウェアの ダウンロード |  |  | - | - | - | - | - |  | - |
| プロダクト キーの表示 |  | - |  | - | - | - | - |  | - |
| ライセンス情報の表示. |  | - | - |  |  |  |  |  | - |
| ソフトウェア アシュアランス特典の管理 |  | - | - | 表示のみ |  | - | - |  | - |
| サブスクリプションの管理 |  | - | - | 表示のみ | - |  | - |  | 表示のみ |
| オンライン サービスの管理 |  | - | - | 表示のみ | - | - |  |  | 表示のみ |
| ヘルプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**管理者のアクセス権限があると、VLSC でどのような操作を実行できますか。**

管理者は、組織内のユーザーの管理、新規ユーザーの招待、既存ユーザーの無効化を行うことができます。また、ソフトウェアのダウンロード、ボリューム ライセンス キー (VLK) の表示、マイクロソフト ソフトウェア アシュアランス、TechNet、および MSDN® デベロッパー プログラム特典の管理など、その他の操作も行うことができます。

**VLSC サイトにアクセスできるのは、どのようなユーザーですか。**

VLSC にアクセスするには、次のいずれかの方法で、事前にアクセス権限を取得しておく必要があります。

1. 法的に有効なライセンス プログラム フォームで、お客様の組織における連絡先として氏名が記載されていること。通常、これに該当するのは、第一連絡先、エンド カスタマー連絡先、通知連絡先、オンライン アクセス連絡先、ソフトウェア アシュアランス管理者、オンライン サービス管理者、サブスクリプション管理者になります。
2. お客様の組織で、特定のライセンス ID に対応するいずれかのアクセス権限が管理者から割り当てられていること。

上記の方法で VLSC アクセス権限が付与されたユーザーには、[vlsc@microsoft.com](mailto:vlsc@microsoft.com) から電子メールが送付されます。このメールでは、割り当てられたアクセス権限をお知らせすると共に、速やかに VLSC に登録して作業を始められるようお勧めしています。

(注: 初回ログイン時には、有効な Windows Live ID および勤務先電子メール アドレスを入力する必要があります。)

**管理者になる方法を教えてください。**

ボリューム ライセンス契約時に第一連絡先および通知連絡先として氏名が記載されている方が、自動的に管理者と見なされます。オープン ライセンスの場合は、オープン ライセンス発注でエンド カスタマー連絡先として記載された方の連絡先メール アドレスが管理者のものである、と自動的に見なされます。

**有効な勤務先電子メール アドレスが必要な理由を教えてください。**

マイクロソフトは、今回のシステム統合に際し、プライバシー保護と偽造防止のためにセキュリティを強化しました。主な変更点は、VLSC の登録プロセスで、ユーザーの Windows Live ID とそれに関連付けられた有効な勤務先電子メール アドレスが必要になったことです。これにより、マイクロソフトは、ライセンス情報に対応する正当なユーザーを確実に認証することができます。

有効な勤務先電子メール アドレスは、Windows Live ID と同一である必要はありませんが、ボリューム ライセンス契約またはオープン ライセンス発注に記載した電子メール アドレスと同じものにしてください。アクセス権限が割り当てられた勤務先電子メール アドレスは、VLSC の [**My Permissions (アクセス権限の確認)**]ページに表示されます。

**Windows Live ID は、既に存在するメール アドレスでもよいのでしょうか。仕事用のメール アドレスも使えますか。**

Windows Live ID は、勤務先の電子メール アドレスでも構いません。Hotmail®、Yahoo、AOL、g-mail などの任意のプロバイダーのアドレスを、有効な勤務先電子メール アドレスとしてご利用いただけます。

**マイクロソフトのパートナーなのですが、VLSC には自動的にアクセスできますか。アカウントを作成する必要はあるのでしょうか。**

すべての方に、VLSC に登録し、管理する固有のライセンス ID に対応するアクセス権限を確立していただく必要があります。[VLSC への登録手順](#howdoiregister)に従ってください。

**お客様の管理者を教えてもらえますか。**

プライバシー上の理由から、マイクロソフトでは、お客様の組織の管理者名を公表することができません。ただし、パートナー様からのリクエストをライセンス ID に対応した管理者に取り次ぐ手段を提供しています。管理者名が不明の場合には、VLSCの**アクセス権限のリクエスト** フォームを使用して、リクエストを送信してください。ただし、お客様の組織または会社の VLSC 管理者名がわかっている場合には、直接連絡してリクエスト内容を伝えられることをお勧めします。

**アクセス権限をリクエストする手順は、以下のとおりです。**

1. 次の URL で、Windows Live ID を使用して VLSC にサインインします。<https://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/home.aspx>.
2. [**管理**]から [**アクセス権限のリクエスト**] を選択します。
3. 該当する [**プログラム**] を選択します。
4. **ライセンス ID** を入力します。
5. リクエストする [**Permissions (アクセス権限)**] を選択します。
6. コメント (省略可) を追加します。
7. [**送信**] をクリックします。
8. 契約の管理者にリクエストが送信された後 (例: ライセンス ID)、管理者が、リクエストを必要に応じて承認または拒否します。

**Microsoft Enterprise Agreement、Microsoft Select Plus、Microsoft Open Value、または Microsoft Campus and School Agreement に対応する管理者アクセス権限を付与または取得する方法を教えてください。**

お客様のライセンス情報を保護するには、お客様自身が契約の管理者である必要があります。

管理者の追加は、マイクロソフトのサポート担当者が行うこともできますし、組織のライセンス担当窓口にアクセス権限をリクエストして行っていただくこともできます。

その他のボリューム ライセンス契約については、以下までお問い合わせください。

* マイクロソフト ボリュームライセンス コールセンター : 0120-737-565
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)

または、

* マイクロソフト パートナーコールセンター : 0120-708-105
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)

セキュリティ上の観点から、Master Business and Services Agreement (MBSA) または Master (MST) Agreement の管理者以外のユーザーは、契約内容の一覧を確認できません。管理者は、すべての Master Agreement または登録で **管理者権限の引継ぎ**を選ぶことによって、管理者の役割を自動的に引き継ぐことを選択できます。

**登録の一環として管理者権限の引き継ぎを選ぶ方法:**

管理者が VLSC にサインインすると、[**管理者権限の引継ぎオプション**] ページが表示されます。管理者が組織のすべての契約およびライセンスにアクセスできるように、 [**引き継ぎます**] を選択されることをマイクロソフトでは強くお勧めしています。

* [**引き継ぎます**]を選択した場合、そのユーザーはその親契約に関連付けられたすべての子契約の管理者になり、すべての契約を表示できるようになります。
* [**引き継ぎません**] を選択した場合は、子契約は表示されません。(注: この表示は、従来の Microsoft Volume License Services (MVLS) とは見え方が異なります。)

**登録後に管理者権限の引き継ぎを表示する方法:**

[**管理者権限の引き継ぎオプション**] ページは、初回登録後に 1度だけ表示されます。後でこのオプションを表示したり編集したりするには、

* 1. [**管理**]をクリックします。
  2. [**Preferences (環境設定詳細)**] をクリックします。
  3. 更新内容を保存するには、[**保存**] をクリックしてから次のページに移動するようにしてください。

**私は管理者ですが、アクセス権限のリクエストの承認または拒否を求める電子メールを受け取りました。リクエストを承認する方法を教えてください。**

[**Manage Users (ユーザーの管理)**] ページでリクエストの承認または拒否を行うことができます。このページに直接アクセスするには、[**管理**]タブの下にある [**Manage Users (ユーザーの管理)**] オプションをクリックします。[**Manage Users (ユーザー管理)**] ページで、保留中のリクエストをクリックしてリクエストの承認または拒否を行います。

**VLSC 管理者が他のユーザーのアクセス権限を変更した場合、電子メールで通知されますか。**

はい。次のいずれかの場合に電子メールが送信されます。

1. 管理者が新しいユーザーを追加すると、そのユーザーに “Welcome to the VLSC (ようこそ VLSC へ)” というメールが送付されます。新しいユーザーは、メールに含まれる確認リンクをクリックして、VLSC に登録する必要があります。
2. 管理者が既存のユーザーに新しいアクセス権限を割り当てた場合。

管理者が既存のユーザーに設定されたアクセス権限を削除した場合、またはすべてのアクセス権限を削除した場合、ユーザー宛にメールは送信されることはありません。

**お客様が、リセラーを自社のボリューム ライセンス契約の管理者として追加することはできますか。**

お客様が自社のライセンス管理をリセラー様に任せるには、リセラー様を自社の管理者として追加する必要があります。このステップは、お客様の資産を保護するために設けられています。お客様には契約に対する法的な責任があります。リセラー様がお客様のライセンスにアクセスするには、次の 2 つの方法があります。

1. **アクセス権限のリクエスト**により、特定の役割に対応するアクセス権限または管理者のすべてのアクセス権限をリクエストすることができます。
2. オープン ライセンス契約へのアクセスが必要な場合は、[オープン ライセンスの追加](#AddOpenLicense)機能を使用して、限られたアクセス権限だけを追加できます。

**アクセス権限をリクエストする手順は、以下のとおりです。**

1. 次の URL で、Windows Live ID を使用して VLSC にサインインします。<https://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/home.aspx>.
2. [**管理**]から [**アクセス権限のリクエスト**] を選択します。
3. 該当する [**プログラム**] を選択します。
4. **ライセンス ID と認証番号**を入力します。
5. リクエストする**アクセス権限**を選択します。
6. コメント (省略可) を追加します。
7. [**送信**] をクリックします。
8. 契約の管理者 (例: ライセンス ID) にリクエストが送信され、管理者が必要に応じてリクエストを承認または拒否します。

**管理者が割り当てられていない場合、お客様が管理者を追加するには、どうすればいいですか。**

セルフヘルプ オプションが提供されていないため、マイクロソフトのカスタマー サービス担当者がお客様の管理者を追加する必要があります。VLSC にて「ヘルプ」をクリックいただき、、表示されたページ下部に記載されております「ご質問をこちらまでお送り下さい」に貼られているハイパーリンクにて [**お問い合わせ先**]を表示し、最寄りのサポート センターの連絡先をご確認ください。

**管理者として追加されていないリセラーが、オープン ライセンスを管理することはできますか。**

はい。オープン ライセンスの追加機能を使用すると、特定のアクセス権限のセットを取得して、お客様に代わってリセラー様がオープン ライセンスを管理できるようになります。これらのアクセス権限によって、オープン ライセンス情報の表示、ライセンス対象ソフトウェアのダウンロード、該当するプロダクト キーの表示、ソフトウェア アシュアランス概要の表示、マイクロソフト サブスクリプション (MSDN、TechNet、Expression) の表示/管理などの機能が利用できるようになります。お客様がアカウントのユーザー管理もリセラー様に任せたいと考えている場合には、お客様にリセラー様を管理者として追加していただく必要があります。それには、メイン ツールバーで [**管理**]の下にある [**Manage Users (ユーザー管理)**] をクリックします。

**“オープン ライセンスの追加” とは何ですか。**

VLSC でオープン ライセンスの追加機能を使用すると、登録済みのユーザーがオープン ライセンス契約についてのみ、限られたアクセス権限のセットを追加できるようになります。これらのアクセス権限によって、オープン ライセンス情報の表示、ライセンス対象ソフトウェアのダウンロード、該当するプロダクト キーの表示、ソフトウェア アシュアランス概要の表示、マイクロソフト サブスクリプション (MSDN、TechNet、Expression) の表示/管理などの機能が利用できるようになります。

オープン ライセンスの追加機能では、管理者のアクセス権限は付与されません。また、この機能は、リセラー様がお客様に代わってライセンスを管理することを承認された場合にのみ使用してください。ライセンスの管理者としての追加を依頼するには、[**管理**]の下にある [**アクセス権限のリクエスト**]ページを使用します。

**オープン ライセンスの追加機能を使用できるのは、どのようなユーザーですか。**

オープン ライセンス契約に加入し、VLSC に登録済みのユーザーであれば、どなたでもオープン ライセンスの追加機能を使用できます。この機能は、アクセス権限のリクエストの代わりには使用しないでください。管理者またはオープン ライセンス カスタマーの代理としてライセンス管理を承認されたユーザーが代替オプションとして使用してください。(注: オープン ライセンスの追加機能では、管理者のアクセス権限は付与されません。)

ライセンスの管理者が一覧に表示されていない場合、またはアクセス権限リクエストでアクセス権限を取得できないが管理者またはオープン ライセンス カスタマーに代わってライセンスを管理することを認められている場合、VLSC でオープン ライセンスの追加機能を使用できます。

**オープン ライセンスの追加機能は、どのような場合に使用しますか。**

ライセンスの管理者が一覧に表示されていない場合、または ”アクセス権限のリクエスト” 機能でアクセス権限を取得できないが管理者またはオープン ライセンス カスタマーに変わってライセンスを管理することを認められている場合にのみ、オープン ライセンスの追加機能を使用します。この機能は、アクセス権限リクエストの代わりとして使用しないでください。管理者またはオープン ライセンス カスタマーに代わってライセンスを管理することを認められたユーザーが、あくまで代替オプションとして使用してください。

[**Add Open License (オープン ライセンスの追加)**] **ページの表示方法を教えてください。**

VLSC には [Add Open License (オープン ライセンスの追加)] ページを表示できる箇所がいくつかあります。

1. [VLSC Welcome (VLSC へようこそ)] 画面の [Track Licensing Info (ライセンス情報の管理)] ボックス。
2. VLSC を初めて使用するためいずれのライセンスにも関連付けられていない場合は、[Thank you for registering (ご登録ありがとうございます)] ページの [Add Open License (オープン ライセンスの追加)] を使用します。
3. [管理] タブで [**Add Open License (オープン ライセンスの追加)**] を選択します。
4. プロファイルに含まれる契約を表示する権限が与えられている場合は、画面最上部の黒いメニュー バーの [**ライセンス**] をクリックして、オープン ライセンスの追加機能にアクセスします。[**Relationship summary (契約の一覧)**] または [**License Summary (製品の一覧)**] を選択してください。[Add Open License (オープン ライセンスの追加)] リンクをクリックすると、[Add Open License (オープン ライセンスの追加)] ページが表示されます。

**自分のプロファイルにアクセス権限を追加したいのですが、オープン ライセンスの追加機能の使い方を教えてください。**

VLSC に登録済みであれば、次の手順でプロファイルにオープン ライセンスを追加できます。

1. Windows Live ID を使用して VLSC にサインインします。
2. [**管理**] から [**Add Open License (オープン ライセンスの追加)**] をクリックします。
3. [Add Open License (オープン ライセンスの追加)] ページで、有効なオープン ライセンス認証番号およびライセンス番号を入力します。
4. [**I Acknowledge (同意します)**] チェックボックスをクリックして、自分が、記録にあるリセラー様、オープン ライセンス所有者、またはオープン ライセンス所有者から固有の権限を認められたユーザーであることを確認します。
5. [**I Acknowledge (同意します)**] チェックボックスをクリックすると、[**送信**] ボタンが有効になります。[**送信**] をクリックします。
6. オープン ライセンス認証番号およびライセンス番号が確認されると、リクエストが受理された旨の通知が送信されます。
7. 該当するライセンスの管理者に電子メールが送信され、リクエストがあった旨通知されます。
8. リクエストの処理には最大 24 時間かかることがあります。

登録の済んでいないユーザーは、次の手順で VLSC に登録してから、オープン ライセンスの追加機能にアクセスしてください。

1. [www.microsoft.com/licensing/servicecenter](http://www.microsoft.com/licensing/servicecenter) にアクセスします。
2. [**今すぐサインイン**] をクリックします。
3. Windows Live ID を使用してサインインします。
   1. Windows Live ID をお持ちでない場合は、[**Sign Up Now (今すぐサインアップ)**] をクリックして Windows Live ID アカウントを作成します。
4. メール登録ページで、有効な勤務先電子メール アドレスを入力します。
   1. この勤務先電子メール アドレスは、オープン ライセンス発注の [End Customer E-mail address (エンド カスタマーの電子メール アドレス)] フィールドで指定したアドレスです。
5. [**送信**] をクリックします。
   1. 入力したメール アドレスに、[vlsc@microsoft.com](mailto:vlsc@microsoft.com) からメールが届きます。
6. 確認メールに含まれる**ボリューム ライセンス センター**のリンクをクリックし、登録を確認します。
7. ステップ 4 で勤務先電子メール アドレスに関連付けた Windows Live ID を使用して、VLSC にサインインします。
8. [Thank You for Registering (ご登録ありがとうございます)] ページで、[**Add Open License to your profile (プロファイルにオープン ライセンスを追加する)**] リンクをクリックします。
9. 氏名を入力し、オープン ライセンスの認証番号とライセンス番号を入力します。
10. [**I Acknowledge (同意します)**] チェックボックスをクリックして、自分が、記録にあるリセラー様、オープン ライセンス所有者、またはオープン ライセンス所有者から固有の権限を認められたユーザーであることを確認します。
11. [**I Acknowledge (同意します)**] チェックボックスをクリックすると、[**送信**] ボタンが有効になります。[**送信**] をクリックします。
12. 認証番号およびライセンス番号が確認されると、リクエストが受理された旨の通知が送信されます。
13. 該当するライセンスの管理者に電子メールが送信され、リクエストがあった旨通知されます。
14. リクエストの処理には最大 24 時間かかることがあります。

**[Add Open License (オープン ライセンスの追加)] ページで自分の氏名を入力しないといけないのですか。**

セキュリティ強化のために、オープン ライセンスの追加機能では、各ユーザーが VLSC で完全なプロファイルを確立していることが求められます。オープン ライセンスの追加機能によって氏名が管理者に送信され、オープン ライセンス契約情報にアクセスしようとしているユーザーを管理者が認識できるようになります。

ユーザーが初めてオープン ライセンスの追加機能を使用するとき、そのユーザー様のプロファイルに氏名が記載されていない場合にのみ、氏名の入力を求められます。

1. オープン ライセンス認証番号およびライセンス番号に関連付けられた氏名を入力します。
2. [**I Acknowledge (同意します)**] チェックボックスをクリックします。
3. [**I Acknowledge (同意します)**] チェックボックスをクリックすると、[**送信**] ボタンが有効になります。[**送信**] をクリックします。
4. オープン ライセンス認証番号およびライセンス番号が確認されると、リクエストが受理された旨の通知が送信されます。
5. 該当するオープン ライセンスの管理者に電子メールが送信され、リクエストがあった旨通知されます。
6. リクエストの処理には最大 24 時間かかることがあります。

**オープン ライセンスの追加機能では、お客様のライセンス情報を安全のためにどのような対策が講じられていますか。**

オープン ライセンスの追加機能では、オープン ライセンス番号およびオープン ライセンス認証番号の確認、ライセンス管理者への通知メール、悪用を防ぐためのロックアウト機能など、多くのセキュリティ強化策が盛り込まれています。

**私の会社では、多数のクライアント向けにマネージド サービスを提供しており、ライセンス キーやメディアをダウンロードするコンサルタントがたくさんいます。VLSC を無駄なく利用するにはどうしたらよいですか**

管理の一元化という点では、社内で 1 人のサービス管理者が適切な契約にアクセスして、各コンサルタントに必要なライセンス キーやソフトウェアをダウンロードするのが一番簡単でしょう。

他のユーザーのアクセスを管理するには、自分が管理者になるのが一番効率的ですが、管理者のアクセス権限を取得する必要があります。そのほか、ライセンス管理者に依頼し、契約へのアクセスが必要なコンサルタントにダウンロード権限とプロダクト キーのアクセス権限のみを与えることもできます。そうすることによって、彼らが必要に応じてこれらのアイテムにのみアクセスできるようになります。

管理するボリューム ライセンス契約やオープン ライセンス発注が増えても、他のライセンスと同じ勤務先電子メール アドレスに同じ Windows Live ID を関連付けるようにすれば、1 回の VLSC サインインですべてのライセンスにアクセスできるようになります。

**“無効な認証番号/ライセンス番号の組み合わせが続けて入力されました。この機能を一時停止します” というメッセージが表示されました。どういう意味ですか。**

オープン ライセンスの追加機能では、セキュリティ強化の一環として、ユーザーが無効なオープン ライセンス認証番号/ライセンス番号の組み合わせを続けて入力できないようになっています。このメッセージが表示されると、一時的にサイトにログインできなくなります。オープン ライセンス認証番号とライセンス番号を確認したうえで、後日 (最低 24 時間後)、ライセンス情報へのアクセスをやり直してください。

**管理者のアクセス権限とそれ以外のアクセス権限にはどのような違いがありますか。**

管理者には他のすべての役割を包括した権限があり、サイト内であらゆる操作を無制限に実行できます。管理者以外のユーザー様が実行できるのは、自分に割り当てられた役割に関連する操作だけです。たとえばダウンロード管理者は、ライセンス対象のソフトウェアをダウンロードできますが、ライセンス キーの表示をはじめ、それ以外の操作を実行できません。オープン ライセンスの追加機能を使用すると、VLSC でのユーザー管理以外の操作をすべて実行できます。

**管理者の数に制限はありますか。たとえば、組織のエンタープライズ契約では複数の管理者を指定できますか。**

管理者の数に制限はありません。

**ユーザーがアクセス権限のリクエストを送信した場合、リクエストの承認または拒否を行う電子メールを受信する管理者は 1 人だけですか。それともすべての管理者が受信しますか。**

複数のユーザーに完全な管理アクセス権限を付与することができます。ユーザーがアクセス権限のリクエストを送信した場合、契約書にあるすべての管理者が、リクエストの承認または拒否を行う電子メールを受信します。ただし、承認または拒否を実行できる管理者は 1 人だけです。そして、その結果はすべての管理者が確認することができます。

**トラブルシューティング**

**VLSC を初めて利用しますが、登録の際に勤務先電子メール アドレスが認識されません。どうすればよいですか。**

ボリューム ライセンス契約に入力した勤務先電子メール アドレスが、登録に使用した電子メール アドレスと同一のものであることを確認してください。電子メール アドレスが同じものであるにもかかわらず、アクセス権限が設定されていない場合は、以下まで問い合わせください。

* マイクロソフト ボリュームライセンス コールセンター : 0120-737-565
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)

または、

* マイクロソフト パートナーコールセンター : 0120-708-105
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)

**VLSC にログインしようとすると、エラー メッセージが表示されます。どうすればよいですか。**

VLSC でこのほど実施された機能の更新により、アクセス権限の確認が必要になる場合があります。VLSC にログインしたときに、付与されたライセンス ID が表示されない場合は、以下の手順に従ってアクセス権限をリクエストしてください。

**管理者のアクセス権限の場合は、以下の手順に従ってください。**

1. <https://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/home.aspx> で Windows Live ID を使用して VLSC にログインします。
2. [**管理**] **から** [**アクセス権限のリクエスト**] **を選択します。**
3. 該当する [プログラム] を選択します。
4. **ライセンス ID** を入力します。
5. リクエストするアクセス権限を選択します。
6. コメント (省略可) を追加します。
7. [**送信**] をクリックします。
8. 契約の管理者 (例: ライセンス ID) にリクエストが送信され、管理者が必要に応じてリクエストを承認または拒否します。

**オープン ライセンスのお客様の場合 (この場合のみ):**

**アクセス権限リクエスト失敗の通知**が表示された場合は、ライセンス記録に管理者が登録されていないか、または勤務先電子メール アドレスと購入されたライセンスの関連付けがマイクロソフトで行われていないことを意味します。マイクロソフトでは、セキュリティを強化してお客様を保護できるように、有効な勤務先電子メール アドレスを指定されるようお願いしています。

**組織のライセンスの資格を確認するには、ボリュームライセンスコールト センターにお問い合わせください。**

* マイクロソフト ボリュームライセンス コールセンター : 0120-737-565
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)
* ライセンス契約番号、ライセンス認証番号、会社名、会社住所などの情報をカスタマー サービス担当者に伝えてください。これらの情報がお手元にない場合は、販売店にお問い合わせください。
* マイクロソフトのカスタマー サービス担当者は、管理者を追加することによってアクセス権限を付与します。

**アクセス権限に関するこのエラーが解決されない場合は、マイクロソフトボリュームライセンスコールセンターにお問い合わせください。**

* マイクロソフト ボリュームライセンス コールセンター : 0120-737-565
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)

**私は管理者ですが、契約情報にアクセスできず、勤務先電子メール アドレスにアクセス権限が割り当てられていない、というエラー メッセージが表示されます。**

締結されたボリューム ライセンス契約に入力した勤務先電子メール アドレスが、登録に使用する電子メール アドレスと同一であることを確認してください。電子メール アドレスが正しいにもかかわらず、アクセス権限が設定されていない場合は、マイクロソフトボリュームライセンスコールセンターにお問い合わせください。

* マイクロソフト ボリュームライセンス コールセンター : 0120-737-565
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)

**VLSC にサインインしましたが、一部のライセンス ID が表示されません。どうすればよいですか。**

お客様によっては、アクセス権限の設定の確認が必要になる場合があります。Master Business and Service Agreement (MBSA) または Master Agreement (MST) の管理者である場合、[**My Preferences (環境設定)**] ページで管理者権限の引き継ぎオプションを選択していることを確認してください。

**登録中に管理者権限の引き継ぎオプションを選択する方法:**

管理者が VLSC にサインインすると、[**管理者権限の引き継ぎオプション**] ページが表示されます。管理者は、[**引き継ぎます**] を選択して、組織のすべての契約およびライセンスにアクセスできるようにしてください。

* [**引き継ぎます**] を選択した場合、そのユーザーはその親契約に関連付けられたすべての子契約の管理者になり、すべての契約を表示できるようになります。
* [**引き継ぎません**] **を選択した場合は、子契約は表示されません。**(注: この表示は、従来の Microsoft Volume License Services (MVLS) とは異なります。)

**登録後に管理者権限の引き継ぎオプションを表示する方法:**

[**管理者権限の引き継ぎオプション**] ページは、初回登録後に 1度だけ表示されます。

**後でこのオプションを表示したり編集したりする方法:**

1. [**管理**] をクリックします。
2. [**Preferences (環境設定詳細)**] をクリックします。
3. 更新内容を保存するには、[**保存**] をクリックしてから次のページに移動するようにしてください。

VLSC にログインしたときに、組織のライセンス ID が表示されない場合は、以下の手順に従ってアクセス権限をリクエストしてください。

1. <https://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/home.aspx> で Windows Live ID を使用して VLSC にログインします。
2. [管理] から [アクセス権限のリクエスト] を選択します。
3. 該当する [プログラム] を選択します。
4. **ライセンス ID** を入力します。
5. **アクセス権限**を選択します。
6. コメント (省略可) を追加します。
7. [**送信**] をクリックします。
8. 契約の管理者 (例: ライセンス ID) にリクエストが送信され、管理者が必要に応じてリクエストを承認または拒否します。

(注: アクセスの承認には、最大 48 時間かかる場合があります。登録後に、アカウントに対応するアクセス権限がないというメッセージが届いた場合は再登録**しないでください。**確認メールを保存しておき、48 時間後に再度、メール内のリンクをクリックしてください。)

**オープン ライセンスのお客様の場合 (この場合のみ):**

**アクセス権限のリクエストが失敗したという通知があった場合、ライセンスに対応する管理者、または購入済みライセンスに該当する勤務先電子メール アドレスが、現時点でマイクロソフトの記録に存在しないことを意味します。**

**御社のライセンス資格を確認するには、最寄りのカスタマー サポート センターにお問い合わせください。**

* ライセンス契約番号、ライセンス認証番号、会社名、会社住所などの情報をカスタマー サービス担当者に伝えてください。これらの情報がお手元にない場合は、リセラー様にお問い合わせください。
* マイクロソフトのカスタマー サービス担当者は、管理者を追加することによってアクセス権限を付与します。

アクセス権限に関するこのエラーが解決されない場合は、マイクロソフトのカスタマー サービス担当者にお問い合わせください。VLSC からは [お問い合わせ先] を表示し、最寄りのサポート センターの連絡先をご確認ください。

**しばらく情報にアクセスしていなかったのですが、現在サイトにアクセスできません。どうしてですか。**

このほど行ったサイトのアップグレードの一環として、マイクロソフトではセキュリティ アクセス権限を追加したため、有効な勤務先電子メール アドレスの入力が求められるようになりました。1 年以上ログインしていなかった場合は、VLSC で再登録してください。

**組織の管理者にアクセス権限をリクエストするには、以下の手順に従ってください。**

1. <https://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/home.aspx> で Windows Live ID を使用して VLSC にログインします。
2. [管理] から [アクセス権限のリクエスト] を選択します。
3. 該当する [プログラム] を選択します。
4. **ライセンス ID** を入力します。
5. **アクセス権限**を選択します。
6. コメント (省略可) を追加します。
7. [**送信**] をクリックします。
8. 契約の管理者 (例: ライセンス ID) にリクエストが送信され、管理者が必要に応じてリクエストを承認または拒否します。

問題が解決されない場合は、「ヘルプ」をクリックいただき、、表示されたページ下部に記載されております「ご質問をこちらまでお送り下さい」に貼られているハイパーリンクにて[お問い合わせ先] を表示して最寄りのサポート センターの連絡先をご確認ください。

**ロックアウトされた場合、再びアクセスできるようにするには、どうすればよいですか。**

セキュリティ強化の一環として、ユーザーが無効なオープン ライセンス認証番号/ライセンス番号の組み合わせを続けて入力できないようになっています。ロックアウトされた場合、24 時間ログインできなくなります。認証番号とライセンス番号を確認したうえで、後日 (最低 24 時間後)、ライセンス情報へのアクセスをやり直してください。

**オープン ライセンス発注時に複数の勤務先電子メール アドレスを入力できますか。**

オープン ライセンス発注時には、[End Customer E-mail address (エンド カスタマー様の電子メール アドレス)] フィールドには、電子メール アドレスを 1 つだけ入力できます。現在、オープン ライセンス発注フォームの [Reseller E-mail (リセラー様の電子メール)] フィールドは、発注時に指定する必要はありません。ただし、リセラー様にはオープン ライセンス発注時に [Reseller E-mail (リセラー様の電子メール)] フィールドを入力し、ライセンス ID への関連付けを確立できるようにされることをお勧めします。

**VLSC の連絡先を変更するには、どうすればよいですか。**

お客様およびパートナー様では、次のような方法でエンド カスタマーの連絡先を変更できます。

* **ラージ アカウント リセラー (LAR) 様/ディストリビューター様:** 引き続き、<https://www.explore.ms>/ の Call Logging Tool (CLT) を使用してお客様の問題を伝えるか、または最寄りのオペレーション センター (ROC) までお問い合わせください。
* **リセラーおよびオープン ライセンスのお客様:** お客様およびパートナー様は VLSC サポート センター (<https://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/Help/Contact.aspx>) に問い合わせて、VLSC のエンド カスタマーの勤務先電子メール アドレスや、お客様の連絡先およびアドレスの変更をリクエストできます。組織名の変更リクエストは、[https://www.explore.ms](https://www.explore.ms/)/ から入手できるライセンス譲渡フォームによってディストリビューターが 送信する必要があります。リセラーは、オープン ライセンスのお客様の問題をディストリビューターに伝えることで、ディストリビューターが CLT で送信できるようにすることもできます。
* ボリューム ライセンス契約やオープン ライセンス発注書で名前が指定されていない、管理者以外のユーザーの勤務先電子メール アドレスを変更するには、ライセンス管理者が VLSC の [**ユーザー管理**] タブで、新しい電子メール アドレスにアクセス権限を割り当て、古い電子メール アドレスからアクセス権限を削除する必要があります。

**VLSC 内のアクセス**

**ボリューム ライセンス サービス センターには、これまでの環境では表示されなかったような、何か新しいデータはありますか。**

VLSC では、ボリューム ライセンス契約とアクセス権限の管理性を向上するために、これまでにない透明性と詳細情報が提供されています。管理者は、ライセンス ID にアクセスできるユーザーの総合一覧を表示できます。MVLS には同様のビューが存在していましたが、eOpen には存在していませんでした。管理者は、ライセンス ID にアクセスしながらそれを認識していなかったユーザーの広範な一覧を表示することもできるため、各ユーザーのアクセス権限をきちんと管理できるようになりました。

**VLSC のビューに新しい契約を追加するには、どうすればよいですか。**

新しいマイクロソフト ボリューム ライセンス契約を結ばれ、そこにご自分の名前が指定されている場合、契約に関する情報が自動的に VLSC に表示されます。

**契約に名前が指定されていない場合は、以下の手順に従ってアクセス権限をリクエストしてください。**

1. <https://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/home.aspx> で Windows Live ID を使用して VLSC にサインインします。
2. [**管理**] をクリックし、[**Request Permissions (アクセス権限のリクエスト)**] をクリックします。
3. 該当する [プログラム] を選択します。
4. **ライセンス ID** を入力します。
5. **アクセス権限**を選択します。
6. コメント (省略可) を追加します。
7. [**送信**] をクリックします。
8. 契約の管理者 (例: ライセンス ID) にリクエストが送信され、管理者が必要に応じてリクエストを承認または拒否します。

**組織に関連付けられた契約の一覧を表示するには、どうすればよいですか。**

セキュリティ上の観点から、Master Business and Services Agreement (MBSA) または Master Services (MST) Agreement の管理者以外のユーザーは、契約内容の一覧を確認できません。管理者は、すべての Master Agreement または登録で **管理者権限の引継ぎ**を選ぶことによって、管理者の役割を自動的に引き継ぐことを選択できます。

**登録中に管理者権限の引き継ぎオプションを選択する方法:**

管理者が VLSC にサインインすると、[**管理者権限の引き継ぎオプション**] ページが表示されます。管理者が組織のすべての契約およびライセンスにアクセスできるように、 [**引き継ぎます**] を選択されることをマイクロソフトでは強くお勧めしています。

* [**引き継ぎます**]を選択した場合、そのユーザーはその親契約に関連付けられたすべての子契約の管理者になり、すべての契約を表示できるようになります。
* [**引き継ぎません**] **を選択した場合は、子契約は表示されません。**(注: この表示は、従来の Microsoft Volume License Services (MVLS) とは見え方が異なります。)

**登録後に管理者権限の引き継ぎオプションを表示する方法:**

[**管理者権限の引き継ぎオプション**] ページは、初回登録後に 1度だけ表示されます。

**後でこのオプションを表示したり編集したりする方法:**

1. [**管理**] をクリックします。
2. [**Preferences (環境設定詳細)**] をクリックします。
3. 更新内容を保存するには、[**保存**] をクリックしてから次のページに移動するようにしてください。

**VLSC からライセンス製品をダウンロードできますか。**

はい。VLSC からメディアをダウンロードしていただけます。上部のナビゲーション メニューの [**ダウンロード**] タブには、ライセンス製品のダウンロードをサポートするメニュー項目が表示されます。たとえば、お客様のライセンスの権利でダウンロードすることが認められている全製品の一覧を、**製品ファミリー**でフィルター処理をして表示することができます。[**ダウンロード**] ページでは、ダウンロードする製品、言語、および接続速度を指定していただけます。

VLSC にアクセスできない場合、または VLSC のアクセス権限が割り当てられるのを待っている場合は、最寄りのサポート センターに問い合わせて、物理メディアの提供を依頼してください。

組織に免税資格がある場合、マイクロソフトがメディアを出荷することによって、免税資格が失われることがあります。免税対象となる州は、アリゾナ、カリフォルニア、コロラド、フロリダ、ジョージア、アイオワ、メリーランド、ミズーリ、ネバダ、ニュージャージー、ノースカロライナ、オクラホマ、ロードアイランド、サウスカロライナ、バーモント、バージニアです。

**メディアのダウンロードで問題が発生した場合は、**[**最寄りのサポート センター**](#ROCs)**にお問い合わせください。**

VLSC の [**ヘルプ**]をクリックし、表示されたページ下部に記載されております「ご質問をこちらまでお送り下さい」に貼られているハイパーリンクにて[**お問い合わせ先**]を表示して最寄りのサポート センターの連絡先をご確認ください。

**プロダクト ライセンス キーへのアクセス方法を教えてください。**

上部のナビゲーション メニューの [**プロダクト キー**] セクションをクリックします。表示されたページで、既存のすべてのプロダクト キーの一覧を表示したり、製品/組織/ライセンス ID 別にレポートをフィルター処理したりすることができます。

プロダクト キーの詳細、およびマルティプル アクティベーション キー (MAK) やキー マネージメント サービス (KMS) キーの正しい使用方法については、VLSC の [**ダウンロード**] ページや [**プロダクト キー**] ページの [プロダクト キーに関するFAQ] リンクをクリックしてください。この情報は、<http://www.microsoft.com/japan/licensing/existing-customers/product-activation-faq.aspx> でも参照していただけます。

完全な管理アクセス権限、プロダクト キーのダウンロード アクセス権限、または [Add Open License (オープン ライセンスの追加)] のアクセス権限をお持ちの場合は、VLSC で自社のお客様のボリューム ライセンス キー (VLK) をダウンロードしていただけます。その他、パートナー様は <https://explore.ms/> からプロダクト キーにもアクセスしていただけます。製品のライセンス認証に必要なキーを取得できない場合は、最寄りのマイクロソフト ライセンス認証専用窓口 (<http://www.microsoft.com/japan/licensing/existing-customers/activation-centers.aspx>) にお問い合わせください。

マイクロソフトにお問い合わせをされる際は、ライセンス契約番号とライセンス認証番号、会社名、会社住所をご用意ください。

**VLSC でソフトウェア アシュアランス特典にアクセスして有効化する方法を教えてください。**

ソフトウェア アシュアランス特典の詳細を表示するには、上部のナビゲーション メニューの [**ソフトウェア アシュアランス**] をクリックします。Windows Live ID に関連付けられたすべてのライセンス ID について、ソフトウェア アシュアランス特典の利用資格のレポートを表示できます。

[ソフトウェア アシュアランス] セクションの各ページには、[ソフトウェア アシュアランスに関する FAQ] のリンクが用意されています。

**追加のサポートが必要になった場合は、どうすればよいですか。**

VLSC に関する追加のサポートが必要になった場合は、以下までお問い合わせください。

* マイクロソフト ボリュームライセンス コールセンター : 0120-737-565
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)

または、

* マイクロソフト パートナーコールセンター : 0120-708-105
* 受付時間：9:30-12:00, 13:00-19:00 (土日祝日、弊社指定定休日を除く)

### VLSC でのベスト プラクティス

**我々やお客様が VLSC を利用するうえでのヒントがあれば、ぜひ教えてください。**

マイクロソフトでは、プライバシーを守り、プライバシー保護を強化するために VLSC を更新しました。強化した機能は、オープン ライセンスおよびオープン ライセンス認証番号の検証、ライセンス管理者への電子メール通知、誤使用を防ぐためのロックアウトなどです。マイクロソフトにとり、お客様の情報のセキュリティは最優先事項であり、パートナー様は、以下の手順に従ってすべてのセキュリティ対策が実装されていることを確認していただけます。

**手順 1—データの正確性:** VLSC では、お客様がオープン ライセンス発注時に提供された情報を使用して、ライセンス データの表示やアクセスの権限を検証することができます。VLSC ではまた、発注時にお客様情報を使用して、オープン ライセンスのプライマリ管理者にアクセス権限を割り当てます。オープン ライセンス発注を送信する前に、以下の情報が正確であることを確認してください。

* エンド カスタマーの連絡先名 (誤字脱字の有無を含む)
* エンド カスタマーの電子メール アドレス (スペルミスの有無を含む)

オープン ライセンス発注時に [End Customer E-mail address (エンド カスタマーの電子メール アドレス)] フィールドで電子メール アドレスが指定されたユーザーが、VLSC のオープン ライセンスの既定のプライマリ管理者になります。発注時の電子メール アドレスが間違っていると、オープン ライセンス発注に関する重要な情報が通知されず、VLSC サイトにアクセスしてライセンスを表示したり管理したりすることができません。

**手順 2—データの整合性:** VLSC では、ボリューム ライセンス契約とアクセス権限の管理性を向上するために、これまでにない透明性と詳細情報が提供されています。VLSC では、管理者は、組織の契約やライセンス購入、ライセンス ID にアクセスできるユーザーの総合一覧を表示できます。このクラスの透明性を実現するために、VLSC ではライセンス番号、認証番号、エンド カスタマーの勤務先電子メール アドレスの 3 つの方法でユーザーを識別し、ユーザーを特定のライセンス情報に関連付けています。

自社のライセンスの全情報を容易に表示できるようにするには、認証番号と勤務先電子メール アドレスが、個々のお客様の発注時を通じてすべて一貫するようにしてください。

**一意の認証番号:** お客様は、組織ごとに一意の認証番号を取得していただく必要があります。ライセンスだけを購入される場合、1 つの認証番号の下で購入をまとめることにより、お客様は組織のすべてのライセンス資産を容易に管理できるようなります。お客様がソフトウェア アシュアランスによって追加のライセンスを購入される場合は、オープン ライセンス発注で既存の認証番号を参照しないでください。マイクロソフトでは、お客様が新しいオープン ライセンスを発注されると、新しい一意の認証番号を割り当てます。

* 認証番号の有効期限は 2 年間です。認証番号の有効期限が切れた後、そのお客様が新たに発注をされると、マイクロソフトは新しい認証番号を割り当てます。
* パートナー様には、ソフトウェア アシュアランスをはじめとして、発注が既存の認証番号を参照していないことを確認していただく必要があります。お客様がソフトウェア アシュアランスの特典を2 年間の有効期限の最後まで利用できるようにするためには、新しい認証番号を割り当てる必要があります。

VLSC のライセンスへの権限のないユーザーにプライベートなライセンス情報が公開されるのを防ぐために、認証番号を他のお客様向けに転用しないでください。

**エンド カスタマーの電子メール アドレス:** オープン ライセンス発注が送信されると、特定のライセンス ID のアクセス権限がエンド カスタマーの電子メール アドレスに関連付けられます。お客様が 1 つのビューで複数のライセンスにアクセスし、表示したり管理したりできるようにするには、個々の発注で同じエンド カスタマーの電子メール アドレスを使用してください。

* 同じ会社の別の従業員がオープン ライセンスを購入し、そのライセンスの管理者になる場合は、該当する発注には自分の勤務先電子メール アドレスを記載してください。必要に応じて、VLSC の [**管理**] タブの [**ユーザー管理**] を使用して、そのライセンス ID の他のユーザーにアクセス権限を割り当てることができます。

**リセラーの電子メール アドレス:** 現時点では、オープン ライセンス発注フォームの [Reseller E-mail (リセラーの電子メール)] フィールドを発注時に記入していただく必要はありません。ただし、リセラー様には、オープン ライセンス発注時に [Reseller E-mail (リセラー様の電子メール)] フィールドを入力し、ライセンス ID への関連付けを確立できるようにされることをお勧めします。

**手順 3—VLSC への登録:** VLSC に登録されていない場合は、[登録の手順](#howdoiregister)に従ってください。

**手順 4—お客様が VLSC に登録されたことの確認:** セキュリティ強化の一環として、オープン ライセンス発注時に、[End Customer E-mail Address (エンド カスタマー様の電子メール アドレス)] フィールドで指定されたお客様には、VLSC ではそのオープン ライセンスの管理者の役割が自動的に割り当てられます。お客様のライセンスを表示したり管理したりするためのアクセス権限を取得するには、ライセンス情報の表示、ソフトウェア ダウンロードの管理、プロダクト キーへのアクセス、およびソフトウェア アシュアランス特典や MSDN、TechNet、その他のサブスクリプションの管理のアクセス権限をライセンス管理者に付与してもらう必要があります。契約の条項に対してお客様には法的な責任があるため、マイクロソフトではお客様のライセンス データを保護するためにこの機能を追加しました。

* お客様が VLSC への登録に必要な Windows Live ID や有効な勤務先電子メール アドレスをお持ちでない場合は、パートナー様がお客様と協力して電子メール アカウントを設定してください。お客様は、このアカウントを使用して重要な更新やボリューム ライセンスの発注に関する情報を受信したり、VLSC の情報にアクセスしたりすることができるようになります。
* Hotmail®、Yahoo、AOL、g-mail などの任意のプロバイダーのアドレスを、有効な勤務先電子メール アドレスとしてご利用いただけます。
* VLSC に登録する場合、お客様の有効な勤務先電子メール アドレスは、Windows Live ID と同一である必要はありませんが、オープン ライセンス発注の [End Customer E-mail Address (エンド カスタマー様の電子メール アドレス)] フィールドに記載した電子メール アドレスと同じものにしてください。

**手順 5—アクセス権限の取得:** VLSC でライセンスを表示したり管理したりするには、組織のライセンス管理者に、特定のライセンス ID について 1 つ以上のアクセス権限の役割を割り当ててもらう必要があります。アクセス権限の割り当てをリクエストするには、このドキュメントの**アクセス権限のリクエスト**の手順に従ってください。

**お客様のライセンス データの安全性の確保についてのガイダンスはありますか。**

マイクロソフトにとり、お客様の情報のセキュリティは最優先事項であり、パートナー様は、以下の手順に従ってすべてのセキュリティ対策が実装されていることを確認していただけます。

**サインイン情報の保護:** お客様が独自の VLSC プロファイルを正しく設定できるようにサポートしてください。お客様とパートナー様の間でサインイン情報を共有することは避けてください。

* お客様が別のユーザーの情報でサインインしている場合、お客様はそのユーザーのプロファイルに関連付けられているすべてのアカウント情報にアクセスできます。
* ディストリビューター様やリセラー様が自らのサインイン資格情報をお客様に提供すると、お客様は、ディストリビューター様やリセラー様のアクセスが認められている他のすべてのお客様情報にアクセスできるようになります。

**安全なチュートリアル:** 多くのパートナー様が、初めて VLSC サイトを使用するお客様向けに VLSC のデモンストレーションを提供しています。このチュートリアルでは、お客様が「VLSC ユーザー ガイド」(<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=d75e4c02-e38c-4a22-b7f7-69f9706c5240&displayLang=ja>) を使用して、自分のアカウントにサインインしてデモンストレーションを行うか、VLSC のデモンストレーション (<http://www.microsoft.com/japan/licensing/existing-customers/manage-my-agreements.aspx>) にアクセスするよう指示してください。パートナー様の情報を使用してサイトにサインインし、パートナー様のアカウントを使用してお客様にデモンストレーションを行うと、他のすべてのお客様の情報が公開される危険性があります。

**一意の認証番号:** お客様の情報をセキュリティで保護するには、各お客様が一意の認証番号を持つようにしてください。VLSC のライセンスへの権限のない他のユーザーにプライベートなライセンス情報が公開されるのを防ぐために、この一意の認証番号を他のお客様向けに転用しないでください。